

不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

小野未鈴 (管理栄養士 / 栄養課)

功 績 入社4年目の栄養士であり、多忙な業務の中、独学にてR3年度の管理栄養士国家試験に合格。今年より管理業務を覚え初めておりましたが、主管理栄養士が治療の為、その役割を急遽1人で担うこととなりました。その様な中、特養4・5階においてコロナクラスターが発生。デスポ食器の対応から2回食提供マネジメント、年末年始ということもあり、発注の調整が非常に困難な状況であったものの、冷静・適正に対応し、更には栄養課職員2名のコロナ陽性が判明し厨房機能がマヒしそうな中、自ら厨房に入り業務を熟しながら、利用者さんの楽しみである食事提供を安心・安全のもと、滞りなく提供することができた功績。

推 薦 者 三浦ルミ (栄養課/管理者 管理栄養士)

推 薦 理 由 まだ4年目の職員ではありますが、管理栄養士としてのマネジメントの能力に長けており、厨房からの信頼も大きい職員です。初めての業務も多くなる中、ピンチの際にも冷静にチャンスと捉え、確実にそして安全に有事の際にも滞りなく食事提供を行うことができました。

内 容

小野はR2年に入職した新卒の職員となります。1年目よりプリセプターとLINEを活用しながら煩雑な厨房業務を確実に覚え、2年目にはその経験を活かし、新卒栄養士のプリセプターを担って来ております。その多忙な業務の中、独学にて管理栄養士国家試験に合格し、今年度より指導管理栄養に付き管理業務を覚えている最中でした。

その管理栄養士が体調不良となり、継続的な治療が開始となりました。申し送りは受けているものの、実働1人で熟するのは非常に負担が大きい状況でしたが、持ち前の明るさと前向きな姿勢で、栄養ケアマネジメント及び往診歯科のミールラウンド、ケース会議等、懸命に業務を熟してくれていました。

その様な中、12月24日より特養においてコロナクラスターが発生。主管理栄養士もコロナ陽性となり、栄養課のマネジメントを1人で対応せざるを得ない状況となります。年末年始ということもあり、発注調整の期間は無く、陽性者対応のデスポ食器対応及び2回食への切り替え対応、発注調整作業などが一気に発生しましたが、現場調理師と連携し、冷静・適正な対応を行ってくれました。また、現場職員が不足する際には、自らが厨房に入りフォローを率先して行ってくれるなど、非常に頼もしくその求められる役割を超えた活躍を行ってくれました。

このピンチな状況をマイナスの発言一つも発しない小野のマネジメントにより、利用者さんに対して安全な食事提供ができたのは言うまでもなく、正月にはおせち料理や握り寿司をデスポ食器にて提供する事ができました。